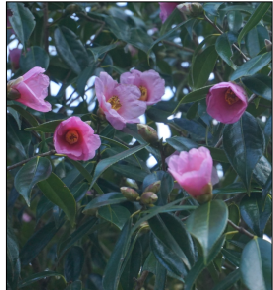


# ツバキと共に四半世紀

日本ツバキ協会那須野支部  
支部長 内田 紀吉さん

ツバキは日本を代表する花木の一つで、古来から日本人に愛され「万葉集」にも登場しています。

また、かの俳聖の芭蕉も「鶯の笠落としたる椿かな」と詠んでいます。このツバキの花の魅力を広く普及させようと、長年にわたり活動を続けている内田さん話を伺いました。



太郎冠者

美しさに強く魅かれま

●ツバキの魅力は種類も多く変化に富み、上品でありながら

●ツバキの種類は現在、雑種も含めて三千種以上あります。系統的には、ヤブツバキ系、ユキツバキ系、ユキバタツバキ系、太郎冠者系と肥後椿系があります。これは葉柄、子房毛の有無、変形などから判断したものです。

●どんな活動を日本ツバキ協会があり、その傘下に各都道府県単位の支部があります。栃木県では私どもの那須野支部が活動しており、一日で約八百人の方が訪れるような名木の鑑賞会を普及活動として開催しています。また、植え替えの開催や、「全国椿サミット」にも参加しています。

(記者の一言) 参加して「矢板市では市の木にナツツバキを選定しています」と紹介すると歓声が上がったそうです。ツバキを選定している自治体は、本市だけしかないので、これを聞いてちょっと自慢したくなりました。(T・S)

# 「できたくる！」の喜びを分かち合いたい!

キッズジムやいた 山崎 葵さん



●ジムの内容は このジムでは、三歳から八歳までの子どもを対象に三クラスに分けて体操を教えています。幼児クラス、一般クラス、チャレンジクラスがあり、年齢や個人の適正に合わせてクラスが選べ、運動能力の基礎を養えます。それ以外にも希望者に対して、個人レッスンや英会話ダンス教室も行っています。

●教える楽しさは できるようなことができないようになったら子どもたちはとても喜んでくれます。また私もレッスンをしていてやりがいを感じています。

●山崎さんの経歴は 小学三年生から体操クラブに通い始め、中学三年生の時に国体少年の部に出場しました。高校生の時は三年連続

●ジムとの出会い 東京女子体育大学卒業後、宇都宮で働いていましたが、Uターンを考えた時、矢板中央高校サッカー部の高橋監督からこのジムの話を聞き、矢板に戻って出場、栃木県高校総体でも優勝しました。子どもの頃から体操をやっていたので、このような成績を残すことができました。また、体操することで体も心も強くなりました。

●幼稚園児のクラスを見学しました。インストラクターとアシスタント指導のもと、最初は全然飛べなかった飛び箱も四〜五回やったらクリアして飛べるようになったので、うれしそうでした。早い時期からの経験が必要なんです。(K・H)

●問い合わせ キッズジムやいた 住所：扇町二丁目 電話：(四七) 五六二二

